

平成29年度第2回秋田県社会福祉審議会地域福祉支援計画専門分科会
議事要旨

1 開催日時

平成29年10月24日（火）15:00～17:00

2 開催場所

県庁舎7階 73会議室

3 出席委員

10名中9名出席

4 議事

(1) 秋田県地域福祉支援計画の基本的な考え方について

計画の策定趣旨や位置付け、基本理念や目指す姿の案について説明

【委員からの主な意見】

○地域において生活課題を把握して課題解決を図り、解決できない事項については相談支援機関との重層的な連携により、解決していくということを計画で表してほしい。

○地域では様々な団体が独自に活動をしており、相談支援へつなぐ重層的なアプローチも行われているが、団体同士のネットワークの構築が難しい。

(2) 秋田県地域福祉支援計画における施策の方向性について

【委員からの主な意見】

○相談をワンストップで受け付けることは難しい面もあるが、様々な相談機関をたらい回しにしないことが大事

○生活困窮者に対する支援等において、地域における関係機関の連携に加えて、必要に応じて他の地域との広域連携を進めてほしい。

○地域包括支援センターの機能強化として、情報を関係機関に振り分けてコーディネーターする人材が必要

○医療機関の受診者が福祉に関する課題を抱えていることがある。生活困窮に関しては、相談に行くことができない人などの表面上は見えない課題を医療機関でも把握し、関係機関につないで支援していくという連携づくりが大事

○地域住民が福祉を学び、地域活動に参画する意識醸成を図ることが必要

○ボランティア活動については、学生等が資料で学ぶだけではなく、カリキュラムの中にボランティアへの参加機会を設けることなどが必要